

令和元年度 第1回 大阪府立東住吉総合高等学校 学校運営協議会 議事録

日時：令和元年7月17日（水）14：00～15：30

場所：大阪府立東住吉総合高等学校TRYルーム

1. 開会
2. 学校長挨拶
3. 委員紹介
4. 事務局紹介
5. 協議
 - (1) 保護者からの意見書提出状況について：特になし
 - (2) 実施要項について：教頭から説明
 - (3) 学校の現状：各分掌長等から簡単に説明
 - (4) 「平成31年度学校経営計画」等について学校長からの説明

○高等学校新学習指導要領の理念である「社会に開かれた教育課程」と「主体的・対話的で深い学び」の紹介

○生徒に身につけさせたい力

・「課題発見・課題解決能力」

※「情報の入力・処理・出力能力」：読む、聞く、まとめる、話す、書く

※「他者共有力」：価値観の異なる多様な他者とも協力して物事を進めることのできる力

○めざすべき人材像

・「価値観の異なる多様な他者と協力しながら、課題を発見し解決していける人材」

○大切にしたいもの

・「自己と他者を認め合い、お互いに協力し合える雰囲気」

○「平成31年度学校経営計画」

1. 確かな学力の育成と主体的・対話的で深い学びの実現
 2. 社会とつながる力の育成
 3. 地域連携と広報活動の充実
 4. 生徒を支える校内体制の充実
- についての説明と実績を報告

- ・就職一次内定率 89.2% (H30) : 5年間で 15 ポイント上昇
- ・資格取得実績 : 7年連続 200 件越え
- ・4年生大学合格者数 32 名 (H30) : 大学入試難化傾向
- ・年間遅刻者数 1935 名 (H30) : はじめて 2,000 名以下!
- ・中退率 1.4% (H30) : H25 は 6.5%
- ・部活動加入率 46.4% (R1) : ここ 4年間で 40%台後半

○本校の課題とその対応

- ・進学希望生徒への対策
- ・「魅力ある授業づくり」をめざし、授業改善に組織的に取り組む (学力向上プロジェクトチーム)
- ・生徒主体の生徒会活動 (さらに生徒を前面に) 及び部活動の活性化
- ・自己と他者を認め合える雰囲気づくりと人権啓発への取り組みを引き続き進化

☆委員からの意見

- ・大学定員の厳格化により大学入試が難化傾向にあるということだが、大学進学へのニーズが高まってきているので、ひきつづき進学希望生徒への対策に取り組んでいただきたい。
- ・文化と教養系列について、保育系をめざす生徒など様々な進路選択があると伺っている。系列の特色をわかりやすく伝えていただければありがたい。
- ・中学でも、いろいろな取り組みを行っているが、東住吉総合高校はいい方向に向かっているので今後参考にしたい。
- ・文化祭の P T A バザーについて、以前は保護者や地域の人からの協力も得ることができていたが、最近ではバザーの商品も集まりにくい状況である。今年は例年に比べて何か違う取り組みを考えている。
- ・通学時の、交通ルール、マナー等非常に良くなってきているが、自転車通学について今後も気をつけて指導してほしい。特に学校前の交差点での信号無視等のマナーには注意が必要。
- ・生徒の意識はいい方向に向かっていると感じている。右肩上がりの学校。

6. その他

第2回の協議会開催日日程について